

第4回小児脳腫瘍カンファレンス プログラム

開催日：2024年9月28日（土）14：00～17：30

開催方法：Zoomによるライブ配信および現地会場

横浜会場：うみとそらのおうち (<https://childrenshospice.yokohama/index.html>)

大阪会場：TSURUMI こどもホスピス (<https://www.childrenshospice.jp/>)

開会の辞：当番世話人：大阪市立総合医療センター 小児血液・腫瘍内科 山崎 夏維

I 一般演題 14：00-16：30 (すべて病理解説有り)

座長：東北大学 小児科 新妻 秀剛

1) 14：02 「BRAF/MEK 阻害薬が有効であった脳幹 Pilocytic astrocytoma の一例」

九州大学大学院医学研究院 脳神経外科 藤岡 寛

2) 14：15 「中枢神経系に発生した胞巣型横紋筋肉腫の一例」

愛媛大学医学部附属病院 小児科 森谷 京子

3) 14：28 「病理遺伝学的に悪性所見を認め、集学的療法が奏効した growing teratoma syndrome の一例」

新潟大学 脳研究所 脳神経外科 棗田 学

4) 14：41 「画像所見や AFP の推移から未熟奇形腫を疑ったが、分子病理学的に頭蓋咽頭腫と診断し得た新生児例」

埼玉県立小児医療センター 血液・腫瘍科 高田 啓志

休憩 14：54～15：00

II 一般演題 15：00-15:50

座長：東京大学 脳神経外科 高見 浩数

5) 15：00 「術前診断が困難であった meningioangiomatosis の一例」(病理解説有り)

埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 福岡 真惟

6) 15：10 「MAMLD1::BEND2 fusion を有する astroblastoma-like neuroepithelial tumour の1例」

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経外科 井上 陽平

7) 15：20 「髄液 PLAP が検出感度以下であった成熟奇形腫とジャーミノーマの混合性胚細胞腫瘍の一例」

北海道大学 脳神経外科 大木 聡悟

8) 15：30 「下垂体茎腫脹と中枢性尿崩症を伴い germinoma が疑われる児の治療方針についての相談」

愛媛大学医学部附属病院 小児科 加賀城 真理

9) 15：40 「保険収載後 BRAF/MEK 阻害剤の延髄毛様細胞性星細胞腫に対する使用経験：続報」

北里大学 脳神経外科 隈部 俊宏

休憩 15：50～15：55

Ⅲ. 要望演題

座長：静岡がんセンター 小児科 谷口 理恵子

10) 15 : 55 「化学療法前に精子保存した神経下垂体部ランゲルハンス細胞組織球症の一例」

広島大学大学院医系科学研究科 脳神経外科学 隅井 俊満

11) 16 : 05 「髄芽腫治療開始前に卵巣保存を実施した女児の2例」

大阪市立総合医療センター小児血液・腫瘍内科 松岡 祐樹

12) 16 : 15 「小児脳腫瘍の妊孕性温存に関する2例の考察」

国立成育医療研究センター小児がんセンター 清谷 知賀子

休憩 16 : 25～16 : 30

特別講演 16 : 30-17 : 30

座長：大阪市立総合医療センター 小児血液・腫瘍内科

山崎 夏維

講演① 16:30

神奈川リハビリテーション病院 小児科部長 吉橋 学先生

「子どもの高次脳機能障害」

講演② 17:00

聖マリアンナ医科大学 産婦人科教授/生殖医療センター副センター長 高江 正道先生

「小児妊孕性温存の現状と課題」

■小児脳腫瘍カンファレンス ホームページ <https://jspno.site/>



■問い合わせ先：小児脳腫瘍カンファレンス 事務局

埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 (Email: ksyouni@saitama-med.ac.jp) TEL:042-984-4111 (代)